



季刊誌「むらのおと」

Vol. 47
2025.Autumn



mura note file
むらの声
●日野 元気な百姓達の里（賀茂郡南伊豆町）
殿（藤枝市）
●天方（周智郡森町）ほか
●小谷あゆみのむらレポ
●伊浜地区（賀茂郡南伊豆町）
フォトコンテスト
イベントカレンダー



季刊誌「むらのおと」

vol.47
2025
Autumn



2025年10月20日発行
●発行／「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
静岡県経済産業部農地局農地保全課 ☎ 054-221-2714 FAX.054-221-2809



農村 × 企業・大学 「むらマッチ」

ニーズと得意分野をマッチング。



人材育成や地域貢献、新商品開発等に向けて、魅力的な地域資源をもつ農村地域を紹介
農村と企業・大学の協働活動による新たな取組を
静岡県が手厚くサポートします

<https://www.shizuoka-murasapo.net/muramatch>



むら しば お か
サポ 農山村サポーター

ふじのくに
美しく品格のある邑
Beautiful and Graceful Villages in "FUJINOKUNI"
「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合



Facebook
www.facebook.com/shizuokamurasapo/
しずおか農山村サポーター「むらサポ」



Instagram
www.instagram.com/murasapo/



オフィシャルウェブサイト
www.fujinokuni-mura.net
美しく品格のある邑 検索

むらの声 mura note file

03 #01 日野 元気な百姓達の里
(賀茂郡南伊豆町)

05 #02 殿
(藤枝市)

07 地域 × 企業等
天方ほか
(周智郡森町)

09 小谷あゆみのむらレポ Vol.33
伊浜地区
(賀茂郡南伊豆町)

11 フォトコンテスト

13 イベントカレンダー

表紙 / 富士市富士岡（美しく品格のある邑：富士山のふもとの郷を守る邑）

第10回静岡県農村の魅力フォトコンテスト（秋）入賞作品「収穫を終えて」高橋 正雄
稲刈り後の田園風景、今では珍しい自然乾燥の様子を、雄大な富士山が見守っています。



ふじのくに美しく品格のある邑って？

日本一高い富士山や日本一深い駿河湾など、変化に富んだ地形と清らかな水に恵まれた静岡県は、農作物や水産物の品目数において全国トップクラス。この豊かな食材を生産する県内の農山漁村には、棚田や茶畑といった美しい風景に加えて、古くから伝わる伝統が息づく地域それぞれの「宝（資源）」があります。

「ふじのくに美しく品格のある邑」とは、地域の宝を大切に思い、それを守り、次世代につなげていこうとする人々が集まって、真摯に活動を行う理想の農山漁村として「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合が認定した地域（邑）です。平成24年度に35市町の45地域が認定されたのを皮切りに、毎年登録数が増え続け、令和7年10月現在で155の地域が名を連ねています。

「ふじのくに美しく品格のある邑」は、深い山々に囲まれた山間地の集落から、周囲が市街地化された農園まで、その個性は様々です。

周辺環境だけにとどまらず、規模の大小、文化や歴史、特産品や名物など、155の地域にはそれぞれに特徴があり、県全域で多彩で多様な魅力を形成しています。

また、そこで活躍する人々も魅力的です。自分たちの地域を愛し、活動に誇りを持つ人たちの自信に満ちた姿は、訪れる人にとって、忘れられない「美しい思い出」となるはずです。「ふじのくに美しく品格のある邑」の詳しい情報は連合のホームページにあります。魅力的な場所、地域の特産品、参加できるイベント情報なども掲載されているので、まずは気になる邑を訪ねてみましょう。



ふじのくに美しく品格のある邑ホームページ

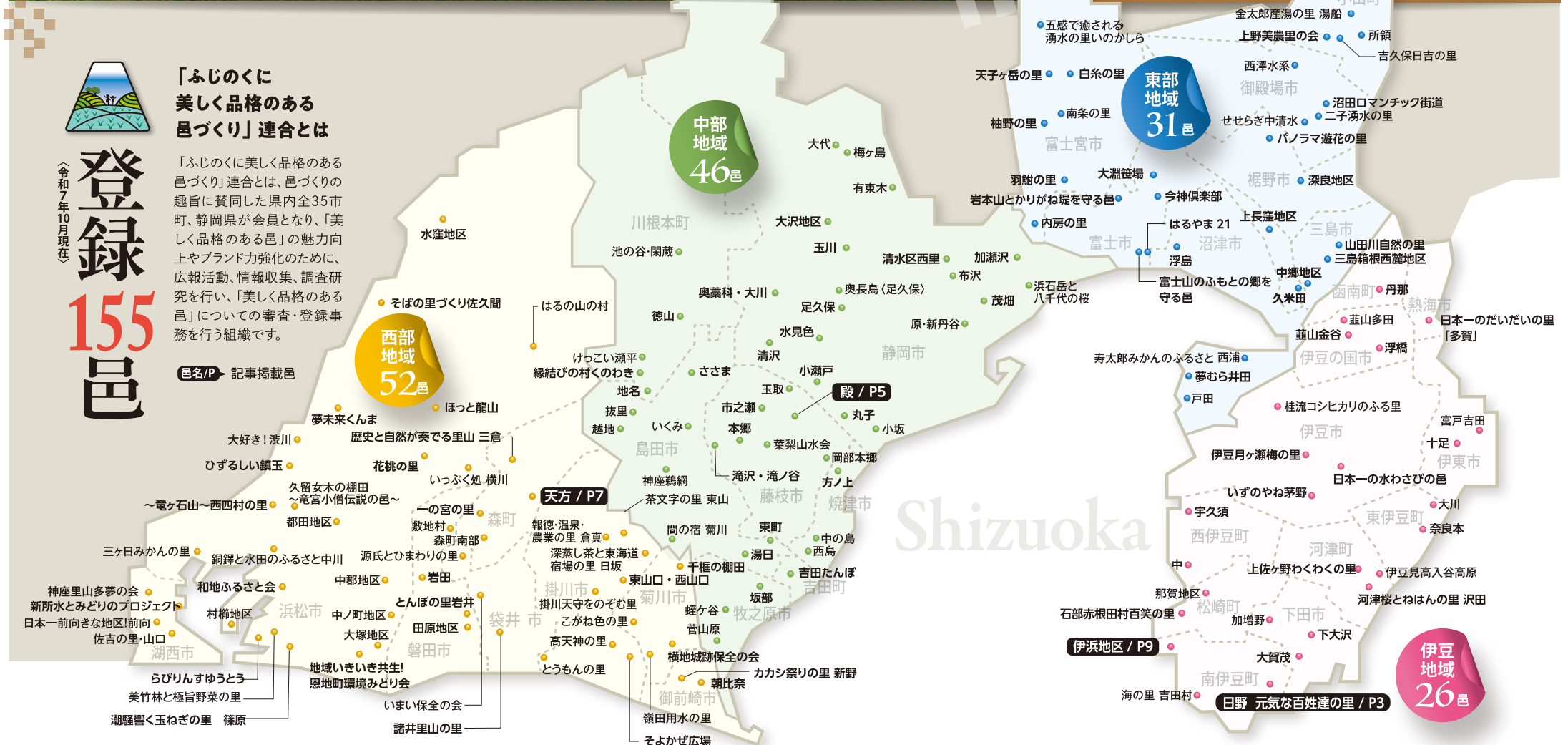


登録
155
邑

「ふじのくに
美しく品格のある
邑づくり」連合とは

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合とは、邑づくりの趣旨に賛同した県内全35市町、静岡県が会員となり、「美しく品格のある邑」の魅力向上やブランド力強化のために、広報活動、情報収集、調査研究を行い、「美しく品格のある邑」についての審査・登録事務を行う組織です。

邑名/P 記事掲載邑



みなみの桜と菜の花まつり

【2月中旬～3月上旬】



青野川沿いに約800本の河津桜が並び、両岸には3ヘクタールの菜の花畑が広がります。ピンクと黄色の共演は、南伊豆ならではの春の風景。昼はのんびり散策を、夜はライトアップや竹灯りがつくる幻想的な雰囲気を楽しめます。期間中は、オープンング神事や伊勢海老みそ汁のふるまい、菜の花ドアや菜の花迷路、ガラボン抽選会やお花見人力車などのお楽しみも用意されています。

●場所／南伊豆町・下賀茂温泉
駐車場／専用駐車場あり
(普通車500円、バイク200円)
※9:00～16:00は車両規制あり
問い合わせ／南伊豆町観光協会
☎0558-62-0141

伊豆半島の最南端に位置する南伊豆町。57キロにおよぶ海岸線に人工構造物がなく、手つかずの自然は国指定の名勝・伊豆西南海岸にも指定されています。春になると、青野川沿いの休耕地約3ヘクタールに菜の花が咲き誇り、両岸の河津桜とともに観光客を迎えます。見頃には25万人を超える人々が訪れ、地域を代表する景観となっています。この景色を支えているのは、日野の邑びとたちです。地域住民をはじめ、町議会や観光協会、旅館民宿組合、森林組合など200人以上が協力し、草刈りや種まきに取り組んでいます。活動は1992年に始まり、「元氣な百姓祭」として今も続いています。南伊豆町農業振興会副会長

の横嶋隆二さんは「日野の宝は、この呼びかけに応える郷土愛あふれる人々です」と語ります。きっかけは30年以上前、当時の会長・鈴木望さんの「邑の玄関口が荒れたままではお客さまに失礼だ」という言葉でした。1988年に「南伊豆町農業振興会」を設立し、耕作放棄地を解消するプロジェクトとして「元氣な百姓祭」を立ち上げました。会長の高野多喜雄さんは「取り組みを通じて他の畑も整備され、退職後に農業を始める人も出てきました」と手応えを語ります。石井静夫さんは「活動をきっかけに子どもたちと距離が縮まり、人生相談を受けることもあるんですよ」と笑顔を見せます。



夏には菜の花畑がひまわり畑に変わり「元氣な百姓達のひまわり畑」として日野の夏を彩る。



休耕田に菜の花をまく地域の小中学生。通学途中の観察も楽しみのひとつ。



邑びとが力を合わせ、耕作放棄地の草刈り作業に励む。

龍馬にプレゼントしたかった酒
しんしょうおこし

身上起純米吟醸

南伊豆町で収穫された「愛国」米を使い、藤枝市の志太泉酒造に仕込んでもらった純米吟醸酒です。「愛国」米は明治時代の三大品種のひとつで、親米はもとも南伊豆町で栽培されていた「身上起」。地元で復活したこの米を、体験学習の一環として子どもたちと一緒に育て、本格的な食味検査まで行っています。

最初は学校給食などに提供していましたが、「加工食品にも広げたい」という声から日本酒づくりがスタート。酒匠アドバイザー・山本清治さんの助言と志太泉酒造の協力で、純米吟醸酒「身上起」が誕生しました。

「龍馬にプレゼントしたかった酒」という名は、幕末の頃に身上起米が南伊豆で盛んに栽培され、下田にたびたび立ち寄った龍馬も口にしたであろう…そんな歴史にちなんでいます。

2015年にはインターナショナル・ワイン・チャレンジ(SAKE部門)でBRONZEメダルを受賞。歴史ロマンとともにおいしい一本です。

●取材協力/酒匠蔵 しばさき
賀茂郡南伊豆町上賀茂44-2 ☎0558-62-0026
営業時間 9:00～19:00 定休日 隔週火曜



飲んでみて!



季節ごとに変わる景色を「日野」で楽しんで!
春は菜の花、夏はひまわりが広がります。私たちが整えた舞台に、商工会や観光協会の皆さんがアイデアを加えてくれるのも見どころ。『みなみの桜と菜の花まつり』では菜の花ドアや菜の花迷路なども登場します。ひまわり畑はお盆に帰省する邑人のために、時期を調整して種まきをしています。日野の花畑へ、気軽に足を運んでみてください!

邑びとメッセーじ

たかの たきお
高野 多喜雄さん

賀茂郡南伊豆町出身。「南伊豆町農業振興会」のほか「みなみの桜守人の会」会長を務める。郵便局を定年退職後、「有機ファーム多喜」で米や野菜、生花などを栽培。



mura note file
むらの声 #01

世代を超えた郷土愛が咲かせる 菜の花とひまわりの元氣な百姓祭

郷土愛から生まれた「元氣な百姓祭」。
春は菜の花、夏はひまわりを咲かせ、今も世代を超えて広がり続けている。



おはなしを伺ったみなさん。左から清水清一さん、石井和好さん、高野多喜雄さん(会長)、石井静夫さん、横嶋隆二さん(副会長)。



今年で37回目を迎える「元氣な百姓祭り」。その功績が認められ、農林水産大臣賞や内閣総理大臣賞も受賞している。



日野 元氣な百姓達の里
ひんの げんきなひやくしょうたちのさと

賀茂郡南伊豆町

●車／東名高速沼津IC・新東名高速長泉沼津ICから約160分、国道136号線(マーガレットライン)沿い
●電車・バス／伊豆急行下田駅から東海バス石廊崎行き「日野」バス停下車(約20分)

虫送り

【毎年8月23日18時〜】



虫を供養し、豊作を祈る伝統行事です。田んぼのあぜ道に立てた松明に火を灯し、害虫を退ける農行事として受け継がれてきました。子どもたちは松明づくりから参加し、当日は手づくりの松明に火を移しながら「あぜ道」を進みます。鐘の音が響く中、「田の虫送れ」と唱えながら火をつなぎ、最後に総善寺前でお慰みと参拝を行って締めくくられます。夏の夜を彩る幻想的な光景は、地域の思いが込められた大切な風物詩です。

●場所／殿公会堂前
(藤枝市岡部岡殿)
料金／無料
駐車場／あり
問い合わせ／藤枝市農林課
☎054-643-3350



殿の田んぼで、初亀醸造の蔵人が自社用の酒米づくりに励む。



毎秋、朝比奈第一小学校の5年生が参加する稲刈り体験。

殿のコスモス畑は3か所あり、毎年場所を変えて開催しています。今年は朝比奈川に面した広く見やすい畑で、川風に揺れる花が一面に広がる景色は圧巻です。殿には花だけでなく、たけのこや旬の野菜、玉露など美味しいものも豊富にあります。無人販売所や玉露の里でも気軽に味わえますので、花と一緒に地元の味覚も楽しんでくださいな！

邑びとメッセージ

おいしひさし
大石久志 さん

藤枝市岡部岡殿出身。「殿ふるさと会」発足当初より会長を務める。高校卒業後は藤枝北高で農業実習助手を経て、実家の農業に従事。酒米や野菜、お茶など多彩な農産物を手がける。「今のこの美しい景観を崩すことなく、次の世代に受け継ぎたい」と語る。



一面に揺れる花のじゅうたん
秋空の下でコスモス三昧
コスモス祭り



休耕田いっばいに咲き誇るコスモスが風に揺れ、殿の秋を彩ります。期間中は畑の中に散策路が設けられ、花のトンネルを歩きながらゆったりと景色を楽しめます。週末には地元の人々による農産物や特産品の販売もあり、訪れる人との交流も魅力のひとつ。さらに、自分で好きな花を摘んで持ち帰れる「コスモス狩り体験」も人気を集めています。

●場所／藤枝市岡部岡殿
期間／10月上旬〜11月上旬
時間／9:00〜15:00
料金／無料
コスモス狩り／300円(駐車場にて協力金をお支払いの方は200円)
駐車場／あり(協力金として300円)
問い合わせ／岡部総合案内所 ☎054-667-6060

遊びに来よう！

邑全体でおもてなし 殿コスモス畑を未来につなぐ

22年前にはじまった殿のコスモス畑。
休耕田を生かした花の舞台は、地域の絆を深め、次世代へ受け継がれている。



お話を伺ったみなさま。左から、村越照雄さん、朝比奈秀さん(事務長)、大石久志さん(会長)、朝比奈信義さん、杉本武久さん。



8月に子どもたちと一緒にコスモスの種まき。秋に咲く姿を楽しみに！



殿
との



藤枝市

●車／東名高速焼津 IC から県道 210 号線経由で約 20 分、新東名高速藤枝岡部 IC から県道 210 号線経由で約 10 分
●電車・バス／JR 焼津駅から静鉄バス焼津岡部線「藤枝市役所岡部支所」下車。藤枝市自主運行バス「殿」バス停下車

PASからはじまる森町の挑戦
 火付け役はサステン株式会社
 社の友田裕人さん。「世界に誇れる『電動アシスト自転車PAS』を地元が知らないなんてもったいない。『PAS』を通じて森町を元気にしたい」その思いから、ヤマハ発動機と連携し、正規販売店「エルドラード森町」を設立しました。森町は1993年にヤマハ発動機が開発した世界初の「PAS」が誕生した場所。今もドライブユニットが生産され、世界へ届けられています。

四つの邑を、自転車であつなぐ
 「農散走」とは、農山村を散歩するように自転車でゆったり走ろう、という発想から生まれた造語。森町の「天方・歴史と自然が奏でる里山三倉・一の宮の里・森町南部」の四つの邑と周辺資源を「みち」でつなぎ、「自転車で愉しむ森町の旅」「自転車を生かした森町の暮らし」を実現することを目指しています。プロジェクト代表の岡戸さんは言います。「これまで四つの邑はそれぞれ活動してきましたが、自転車であつなぐことで森町全体の潜在力をもっと引き出せると考えていま



4つの邑を巡る42.195kmの農散走が誰にでも楽しく実施できる案内マップ。

す。」さらに、浦上正男さんも笑顔で話します。「孫のような世代が来てくれるのはうれしい。世代が違うからこそいろんな意見が出てきて、新しい発想が生まれていくんです。」

仲間と走り、アイデアを形に
 令和5年からルートやマップづくりを進め、令和6年には毎月の定例会を開催。地域おこし協力隊など新しい仲間も加わり、14人で活動しています。

実際に各地を走り、地元の家内と外部の視点を合わせてコースを作成。完成したマップは町内外に配布され、SNSでも発信中です。昨年12月には第1回モニ

ターツアーを実施し、「新しい森町の魅力に出会えた」と好評を得ました。

Eバイクが拓く、森町の未来
 今年は完成した「街中編マップ」も活用し、ツアー展開を加速予定。Eバイクを観光だけでなく住民の移動手段としても活かし、農林業や商工業と連携した新しいツーリズムを育てていきます。

友田さんは最後にこう語ります。「持続可能な邑づくりのために、世界に誇れる『PAS』や人、文化を活かしていきたい。森町には魅力が無限にある。何度でも足を運んで、この町の可能性を感じてほしい。」



合言葉は「自分たちが楽しくないといけないものはできない」。笑いアイデアがあふれる場です。

友田裕人さん（「エルドラード森町」代表）
 岡戸章夫さん（「森町グリーンツーリズム研究会」代表）
 浦上正男さん（「てんぼうの里 半夏生」代表）



期待できる効果

地域の人々にとって

- ・自然・歴史・農の魅力新しい形で発信
- ・観光客や関係人口の増加
- ・高齢者や子育て世代の移動を支援
- ・四つの邑の連携と一体感の強化
- ・持続可能なまちづくりの推進

企業等にとって

- ・「PAS 発祥の地」と結びついたブランド強化
- ・Eバイクの体験機会の創出
- ・観光 × 暮らしで市場拡大の可能性
- ・地域とともに取り組む姿勢で信頼獲得
- ・新しいツーリズムモデルの事例化



天方ほか
あまがた

周智郡森町

- 車／新東名高速 森掛川 IC から約 10 分、東名高速 袋井 IC から約 30 分
- 電車・バス／天竜浜名湖鉄道「遠州森」駅から町営バス（予約制）で「アクティ森」下車

【事業主体】
 森町グリーンツーリズム研究会
 「農散走プロジェクト」
 周智郡森町 1408 エルドラード森町
 ☎0538-31-2251

森町で生まれた E バイクで、四つの邑の価値をつなぐ 農散走プロジェクト



森町発の E バイクを使い、邑をめぐりながら地域の魅力を発信する。そんな挑戦が「農散走プロジェクト」です。仕掛け人は森町愛にあふれる邑びとたち。多彩な仲間が集い、互いをリスペクトし合いながら活動を進めています。



農散走プロジェクトメンバーの皆さん（森町・エルドラード森町・ミリオンベタル合同会社・サイクルショップパストラーレ・森町森林組合・静岡県サイクルツーリズム協議会・森町役場産業課・森町グリーンツーリズム研究会ほか）



3月8日（土）開催の「Eバイク体験スクール&ツアー」。作成したサイクリングマップをもとに、森町の四つの邑をめぐる42.195kmを走破し、無事エルドラード森町へ帰着。



お昼は、空き家をリノベして地域交流拠点として運営されている「たまどん」へ。月2回のランチ営業を行っており、今回は特別に「高御膳」でお母さんたちの手料理をいただきました。



リノベーションした旧大屋邸での1枚。左から高橋利廣さん、齋藤基良さん、松本ちえ子さん、田村ロータス翔音さん、松本恒明さん

が、波勝崎に生息する野生の猿の害を防ぐためレモンにしたそうです。苗木の植え付けは「レモンでも植えよう会」と名付けられ、この3年半で7回、毎回30〜40人が参加してこれまで500本のレモンが植えられました。

大学生との交流で 地域の宝を活かすイベント

また、地域の若者たちがメンバーの「伊浜躍進の会」が中心となって開く「トコリンピック」も盛況です。かつて伊浜の海岸は、天草の産地でした。磯焼けなど海の環境の変化により産業では難しくなりましたが、今も夏の間は、海沿いの軒先に天草を干す風景が見られます。地元産の天草を使ったトコロテン早食い競争の世界大会は昨年度までに6回開催され、昨年は60人が参加しました。地域資源が豊富な伊浜。松本さんによると、2018年、静岡大学の地域創造学環のゼミの学生たちがやってきて、「伊浜カルタ」を作るフィールドワークがあったそうです。学生と一緒に地元の人でも伊浜の風景や風物詩をカルタに詠むというプロセスを通して、「あるものを磨いて地域の活性化につなげる」「地元学」の心得を、みなさん、身に着けたようです。

伊浜の美しさは人にあり

野菜や養鶏を営む翔音さんの農園には、世界じゅうの旅人が援農にやってきます。これは、W W O F (ウーフ) という世界的農業ボランティアのネットワークに登録しているからです。欧米からの訪問が多く、彼らはみな伊浜の美しさに感動しますが、それは単に海や山の景色だけではなくありません。石垣の段々畑に咲くマーガレットをはじめ、花や野菜など、最も魅力的に映るのは、住む人々が傾斜地の畑を丁寧に耕す暮らしの美しさです。

翔音さんは、農業をはじめ、伊浜の様々な地域資源を活かす仕組みを作ろうと、現在、元民宿を改築してゲストハウスを準備中です。人が泊まれる場所を増やして空き家問題解決につなげたいそうです。サップなど、海を活かしたレジャーにも夢は膨らみます。「妻とも出会えて家庭を持ち、子どもが生まれると、伊浜で10年ぶりの子どもだと、地域みんなに祝ってもらえました。伊浜は住めば都です。関係人口から始めて、僕みたいに住んでくれる人が増えたら嬉しい」と話してくれました。



静岡大学の学生と作成した伊浜かるたで地域の宝を再発見！



レモンを植えて伊浜の段々畑をにぎやかにしたいと語る翔音さん

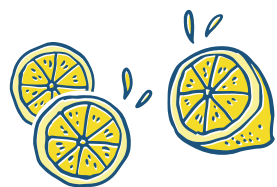


伊浜地区

いはまちく

賀茂郡南伊豆町

- 公共交通機関 / 伊豆急下田駅 - (南伊豆東海バス 下田〜伊浜) - 伊浜バス停留所
- 車 / 東名高速沼津ICより 約 100 分
新東名高速長泉沼津ICより 約 110 分



鮮やかな伊浜ブルーの海と
山に囲まれた伊浜地区。



伊浜地区で唯一の民宿「めくみ荘」さんでは、海の幸や山の幸をたっぷり味わうことができます。(要予約・宿泊者のみ)



伊豆半島の南西端

伊浜には本当の美しさがあります！

みんなでレモンを植えよう
耕そう！ 邑の未来

伊豆半島の南端、駿河湾に面した南伊豆町の西海岸に位置する伊浜地区は、人口300人ほどの小さな集落です。青く澄んだ海と切り立った崖が織りなす入り江は、江戸時代の絵画にも描かれていたほど。かつては段々畑のマーガレット栽培で日本一のシェアを誇っていましたが、人口減少には抗えず、山の畑も荒れてきていました。そうした中、美しい伊浜の活気を取り戻そうと、地域住民と若い世代が協力して、「伊浜300年の邑づくり」プロジェクトが始まっています。

お邪魔したのは、地区の中心部にある旧大屋邸です。古民家をみんなでリノベーションし、防災拠点やコミュニティスペースとしてよみがえらせました。この日集まったのは、伊浜区長の齋藤基良さん(70)、区長代理の高橋利廣さん(69)、関係案内人という松本恒明さん(70)、地域おこし協力隊をこの春卒業した田村ロータス翔音さん(32)です。東京都葛飾区で育った翔音さんは、アウトドアのガイドでこの地を訪れたとき、伊浜の美しさと人の優しさに魅了され、地域おこし協力隊になりました。そこで始めたのは、「無農薬のレモン栽培」です。このあたりは柑橘栽培に適しています。

ところてんの原料となるテングサを乾燥させています。



甘夏ジャムで食べる伊浜産のところてんはデザートにぴったり！





🚶 柚野の里

「実りを願って」
(富士宮市上柚野)
撮影者：井谷 勝利さん
撮影時期：令和 6 年 5 月 4 日



🚶 茶文字の里 東山

「茶文字」
(掛川市)
撮影者：yn____ygw さん
撮影時期：令和 7 年 4 月



🚶 南条の里

「朝の田んぼ見回り」
(富士宮市下条)
撮影者：hime_photo2024 さん
撮影時期：令和 7 年 5 月 11 日



🚶 白糸の里

「竹灯籠点火」
(富士宮市原)
撮影者：otnky321 さん
撮影時期：令和 7 年 3 月上旬



🚶 富士山のふもとの郷を守る邑

「蓮華畑を駆け抜ける幸せのイエロー」
(富士市富士岡南)
撮影者：my_favorite.223 さん
撮影時期：4 月下旬



第11回 静岡県 農村の魅力 フォトコンテスト 入賞作品発表

#しずおかむらたび春 2025

訪れてみたくなる、過ごしたくなる、
農村の「食」、「文化」、「人々」の
写真・投稿を募集しました。

春のテーマ

「ファインダー越しの農村の世界」



🚶 柚野の里

「原風景」
(富士宮市 柚野)
撮影者：勝又 守洋さん
撮影時期：令和 7 年 4 月 8 日



🚶 夢むら井田

「初めての田植え」
(沼津市井田)
撮影者：田村 幸春さん
撮影時期：令和 7 年 4 月 19 日



🚶 南条の里

「孫の畑で」
(富士宮市下条)
撮影者：永田 雅一さん
撮影時期：令和 7 年 5 月 22 日



「新茶が描く曲線美」
(富士市若松町)
撮影者：toshi_om1 さん
撮影時期：令和 7 年 5 月 3 日



「早苗田に映る朝の景色」
(富士宮市)
撮影者：uav.photo さん
撮影時期：令和 7 年 5 月



「田植え」
(富士宮市)
撮影者：aibaqiang さん
撮影時期：5 月上旬

第 11 回静岡県農村の魅力フォトコンテスト #しずおかむらたび 秋 2025 作品募集中！



📅 10.1 📅 12.15

2025 年 10 月 1 日 (水) から秋のフォトコンテスト開催中です！
応募期間は 12 月 15 日 (月) まで。皆様からの多数の応募をお待ちしております！



詳しくは「むらサポ」instagram アカウントをチェック！

応募期間

10/1Wed~12/15 Mon

今回のテーマは、
「秋めく農村を切り取る」です。



🚶 千框（せんがまち）の棚田

「綺麗だね」
(菊川市倉沢)
撮影者：小栗 進さん
撮影時期：令和 6 年 3 月 30 日



「新茶 2025」
(掛川市)
撮影者：tezuka.koji さん
撮影時期：令和 7 年 4 月



🚶 石部赤根村百笑の里

「楽しい共同作業」
(松崎町 石部棚田)
撮影者：senganmon さん
撮影時期：5 月中旬



「茶畑と大井川」
(島田市阪本 中條景昭像公園)
撮影者：shio93 さん
撮影時期：令和 7 年 4 月 30 日



お越しいただく皆様へのお願い

開催日時や内容は、余儀なく変更・中止される場合がございますのであらかじめご了承ください。

伊豆市

二子湧水の里

12月中旬

水かけ菜オーナー募集

特産品「水かけ菜」のオーナー募集。

1区画（5㎡）2,500円、収穫量は生葉で8kg程度
摘み取り適期：2月上旬～3月中旬

🏠 二子公民館 御殿場市二子 366-1

📍 J Aふじ伊豆富士岡営農センター

☎ 0550-87-1014



山田川市

山田川自然の里

11月29日(土) 9時～正午

収穫祭

野菜の品評会、野菜等の販売、里山の遊び等

🏠 山田川自然の里 管理棟前広場

📍 山田川グリーンツーリズム研究会事務局

（農と食のまちづくり課内）

☎ 055-983-2652

三島市

三島箱根西麓中郷

11月30日(日)

第4回 JA ふじ伊豆三島函南地区
農業祭

農産物品評会、三島箱根西麓及び中郷地区を含む
三島・函南地区の農産物即売会等。

🏠 長伏公園（三島市長伏274-1）

📍 JA ふじ伊豆 地区管理課

☎ 055-971-8211



December 12月

浜松市

和地ふるさと会

12月6日(土)7日(日) 9時～17時予定

和地 協働センター祭り

活動報告・遊休農地産の餅米で餅つき体験とふるまい

🏠 和地協働センター 浜松市中央区和地町 6578

📍 和地協働センター

☎ 053-486-0253

浜松駅①のりば館山寺線 30系統で

湖東団地中下車 10分

②あり無料

参加費無料



伊豆市

いずのやね茅野

11月23日(日)

鉢窪山作業道整備

茅野地区にある「はちくぼ山」作業道を整備します。
山頂まで登ることもできます。

🏠 伊豆市湯ヶ島 多目的グラウンド

📍 はちくぼ会事務局 ファーマーズヒル（旧かたつむり）

☎ 0558-85-2104 集合 8：30

藤枝市

市之瀬

11月23日(日) 10時～15時

おかえりな祭市之瀬へ

秋の里山での緑側カフェ、アート作品展示、ワーク
ショップなどを巡るウォークラリー。運営ボランティア
募集中。

🏠 藤枝市瀬戸ノ谷7509-3

市之瀬交流ヴィレッジおかえり他

📍 市之瀬盛り上げ隊 森脇

☎ 090-4953-2547

② 駐車場無料



浜松市

夢未来くんま

11月23日(日) 9時～15時

棚田を歩こう

棚田ウォーク・竹筒ご飯づくり・しめ縄づくり

🏠 浜松市天竜区大栗安 棚田周辺

📍 夢未来くんま事務局 石打

☎ 053-929-0636

参加費：中学生以上 2,000円 小学生 1,000円

三島市

三島箱根西麓

11月23日(日)

三島フードフェスティバル 2025

箱根西麓三島野菜などの特産品を使った地元グルメを多数
集めたイベント。

🏠 楽寿園（三島市一番町19-3）ほか市内各所

📍 三島フードフェスティバル実行委員会事務局

（商工観光まちづくり課）

☎ 055-983-2766

お越しの際は公共交通機関をご利用ください。

森町

天方

11月2日(日) 10時～15時

コモコトモダチ大集合イベント
@アクティ森

森町 PR キャラクター「コモコモ」が主役のイベントです。
近隣のキャラクターたちも遊びに来ます。

🏠 森町体験の里 アクティ森

📍 周智郡森町問詰 1115-1

📍 森町役場産業課 商工観光係

☎ 0538-85-6319

森町

天方

11月2日(日) 10時～15時

アクティ森ワンダフルイベント 秋

プライベートドッグランの設置など愛犬と一緒に楽しめるイ
ベントです。

🏠 森町体験の里 アクティ森

📍 周智郡森町問詰 1115-1

📍 森町体験の里 アクティ森

☎ 0538-85-0115

浜松市

水窪地区

11月2日(日) 10時～14時

第27回みさくぼ夢街道

水窪の物産と食のイベント

🏠 水窪支所前 駐車場

📍 夢街道実行委員会

☎ 053-987-2100

掛川市

とうもんの里

11月9日(日) 10:00～13:00

キッズフェス

大学生が企画したこどものためのフェス。遊びだけでなく、
和つなぎ食堂もあります。こどもの笑顔がスマホに撮る写真
講座開催。

🏠 とうもんの里総合案内所 掛川市山崎233

📍 NPO法人とうもんの会 ☎ 0537-48-0045

参加費あり ② 駐車場有

伊豆市

いずのやね茅野

11月15日(土)

感謝祭

茅野地区集会場にて餅つき。

🏠 伊豆市湯ヶ島 浄蓮の滝近く 茅野集会場

📍 はちくぼ会事務局 ファーマーズヒル（旧かたつむり）

☎ 0558-85-2104

集合 8：30

森町

天方

11月15日(土) 10時～16時 16日(日) 10時～15時

第10回 森町クラフトフェア

県内外からハンドメイドやアートクリエイターが集まり、展
示、販売を行います。

🏠 森町天方・三倉地区

📍 森町体験の里 アクティ森

☎ 0538-85-0115

森町

三倉

10月25日(土) 26日(日)

許禰神社例祭

二輪屋台が勇壮なお囃子に合わせ巡行し、山合の街道が賑わい
ます。

🏠 森町三倉地区

📍 森町観光協会

☎ 0538-85-6316

浜松市

水窪地区

10月26日(日) 10時～14時

第35回峠の国盗り綱引き合戦

長野県と県境で信州軍と連州軍で綱引きを行い県境を移動しま
す。（イベント上）

🏠 兵越峠

📍 国盗り綱引き実行委員会

☎ 053-987-2100

会場には駐車場がありません。
シャトルバス（500円）をご利用ください

November 11月

伊豆の国市

葦山金谷

11月1日(土) 2日(日) 17時～20時

江川邸竹灯りイベント

「灯そう 2025 江川邸の庭へ」

放置竹林の整備により生じた伐採竹を活用し、地域の宝である
「江川邸」を竹灯籠や竹のオブジェで彩ります。両日、地元マル
シェの「竹灯り夜市」、ステージイベントを開催。

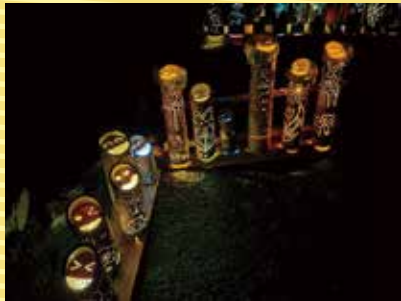
🏠 江川邸及び周辺 伊豆の国市葦山葦山1番地

📍 江川邸竹灯り実行委員会 事務局（柴田）

☎ 090-6335-4333

入場料：高校生以上 300円

※イベント開催時間外に江川邸施設を見学する場合は、
江川邸入場料がかかります。



あなたのご意見を
お聞かせください

〒420-8601

静岡県静岡市葵区追手町9番6号

静岡県経済産業部農地局農地保全課

FAX 054-221-2809

E-mail: nouchihozen@pref.

shizuoka.lg.jp

※ご意見とともに、住所・氏名・電話番号・年

齢をご記載ください。

※頂いたご意見は次号以降に掲載されてい

ただく場合があります。

※個人情報、連絡のため以外には使用い

たしません。

October 10月

伊豆市

いずのやね茅野

10月11日(土)

餅米稲刈り体験

親子で稲刈り体験を行います。

稲刈り体験のボランティアを募集中

🏠 伊豆市湯ヶ島 浄蓮の滝 500m南

📍 はちくぼ会事務局 ファーマーズヒル（旧かたつむり）

☎ 0558-85-2104

参加費：1,500円 8：30 集合

伊豆市

いずのやね茅野

10月19日(日)

黒米稲刈り体験

親子で稲刈り体験を行います。

稲刈り体験のボランティアを募集中

🏠 伊豆市湯ヶ島 浄蓮の滝 500m南

📍 はちくぼ会事務局 ファーマーズヒル（旧かたつむり）

☎ 0558-85-2104

参加費：1,500円 8：30 集合